

佐世保市の地域福祉に関するアンケート

調査結果報告書

平成22年 3月

佐世保市 保健福祉部

目 次

第1章 調査の概要	2
第2章 調査の結果と分析	3
1. 回答者の属性について	3
2. 地域における支え合いの状況や意識について	6
3. 地域活動やボランティア活動の状況や意識について	19
4. 福祉サービスに関する情報や利用の意識について	27
5. 佐世保市における地域福祉の推進について	34
6. 自由意見	42
7. 地域別の回答の結果について	46
資料	
アンケート調査票	61

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、佐世保市民の地域での生活における支え合いの状況や、福祉についての意識度を調査するとともに、本市において取り組んでいる事業についての認知度や意向を把握することにより、今後の本市における「地域福祉の推進」に役立てるために実施するもの。

2. 調査期間

平成21年12月4日（金）～12月25日（金）

3. 調査の対象者

市内在住の満16歳以上の市民3,500人
（住民基本台帳からの地区別および年齢層の比例配分による無作為抽出）

4. 調査の方法

調査票記入式のアンケート調査（郵送配付、郵送回収による）

5. 調査票の回収結果

回収数 1,461件 （回収率 41.7%）

【備考】

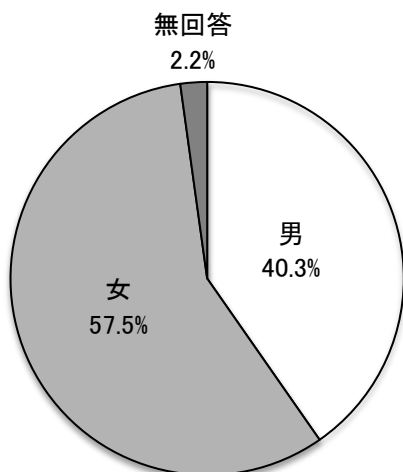
◆この報告書の見方について◆

- （1）各設問の回答については、原則として回答者数を基数とした百分率（%）で表し、小数点第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- （2）複数の回答ができる設問については、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- （3）各設問のうち、調査の主たる目的に関わる設問（問9以降）については、年齢などの属性や他の設問への解答との関連性を調べるため、必要に応じてクロス集計を行っている。
- （4）クロス集計の場合において、各設問の無回答分については、総じて少数なうえ、他の設問に対する回答との関連性を調査する理由は乏しいため、集計の対象からは除外している。したがって、無回答を除いた数を基数とする各設問に対する回答の比率となっている。
- （5）クロス集計の結果の一部において、表示の都合上、図表中の回答率の数値および回答の選択肢等を省略している場合がある。

第2章 調査の結果と分析

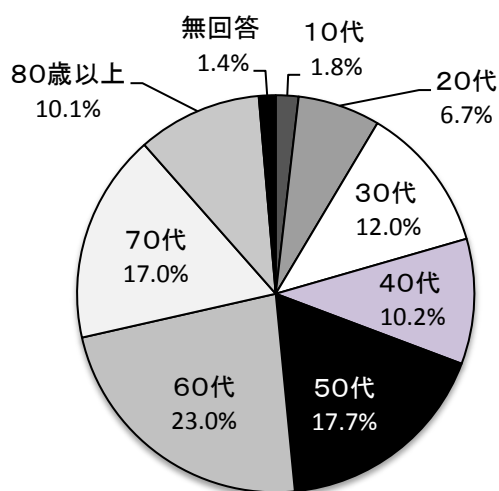
1. 回答者の属性について

(1) 性別



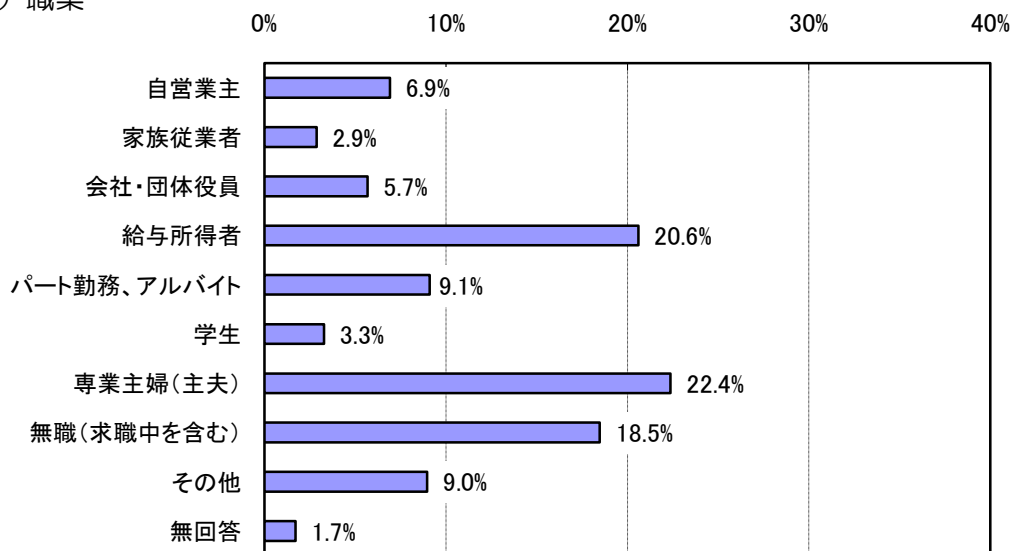
女性が57.5%で、男性よりも多い結果となった。

(2) 年齢



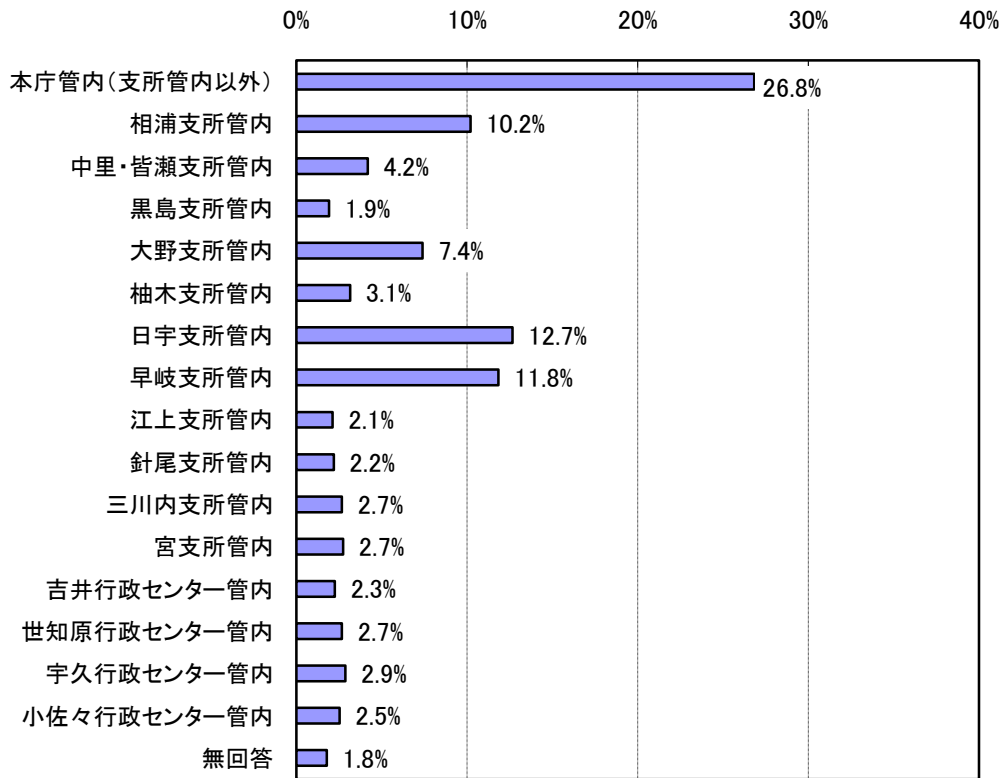
60代からの回答が最も多く、「60歳以上」が全体の半数以上を占めた。

(3) 職業



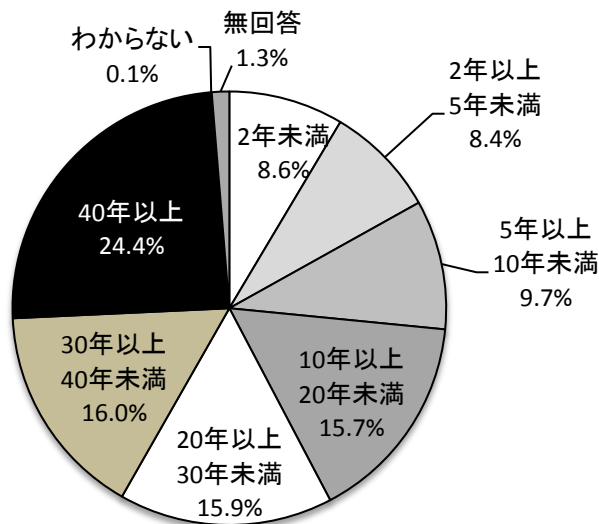
「専業主婦(主夫)」が22.4%と最も多く、次いで「給与所得者」(20.6%)、「無職」(18.5%)となっている。
なお、「その他」の回答の中では、「年金受給者」との回答が多くみられた。

(4) 居住地域



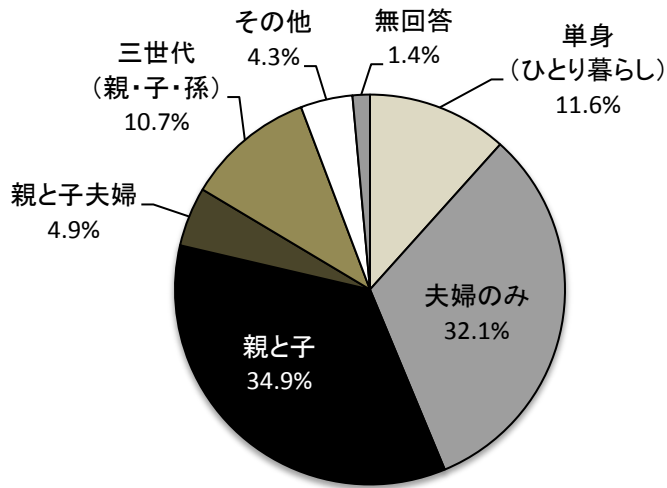
本庁管内を除くと、「日宇支所管内」、「早岐支所管内」、「相浦支所管内」が多く、概ね人口の分布に比例する結果となった。

(5) 居住年数



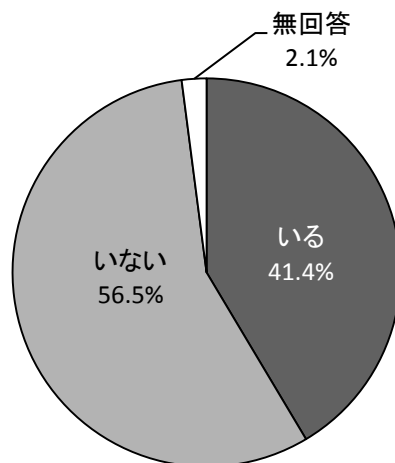
10年以上住んでいる人の割合が全体の72%を占めている。

(6) 家族構成



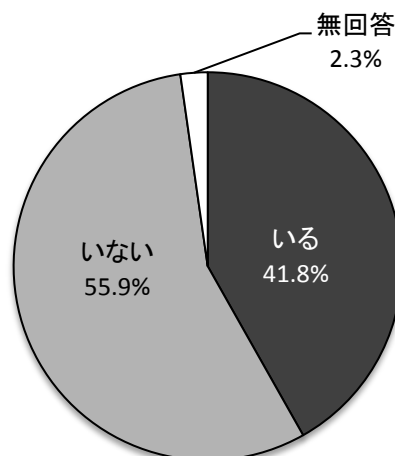
「親と子」が最も多く34.9%となっている。単身を含む核家族は、全体の8割近くを占めてい

(7) 身近な範囲における要支援・介護認定者の有無



「いない」の方が多いが、その差はそれほど大きくはない。

(8) 身近な範囲における障がい手帳の所持者の有無



(7)と同様に、「いない」の方が多いが、その差はそれほど大きくない。